

## IV. スウェーデン学術研究の動向

### ストックホルム市とノーベル財団が、ノーベル賞センターの設立に同意

2011年12月1日に、ノーベル財団とストックホルム市はBlasieholmen島のNybrovikenに現在の国立美術館と隣接した形でノーベル賞センターを設立する同意書に署名した。

ノーベル財団のエグゼクティブディレクターであるLars Heikensten氏は、「同センターはノーベル賞受賞者や研究者・学生・一般市民のための現代的な会議スペースを創設し、『科学の発展と人類の平和』に寄与するというノーベル賞のメッセージを普及する場となるであろう」と述べている。

またストックホルム市長であるSten Nordin氏は、「ストックホルム市は世界トップクラスの教育・イノベーション・研究の集積地となることを目指しており、同センターは若い世代の知識や好奇心の探究に有益な施設となると同時に多くの観光客にとっても非常に魅力的なものとなるであろう。」と述べている。

同センターには現存のノーベル博物館やノーベル財団も収容させ、センターを中心とし、スウェーデンおよびストックホルムがノーベル賞に関する国際的ネットワークのハブとなることを目的としている。

2018年12月の開所を目指し、2012年に建設に関するコンペを行い、2015年末より建設工事を開始する予定である（吉澤 菜穂美）。

(参考)

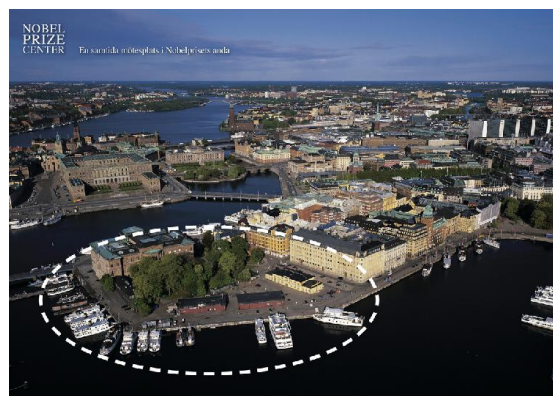
ノーベル財団 HP

[http://www.nobelprize.org/press/nobelfoundation/press\\_releases/2011/nobel\\_prize\\_center.html](http://www.nobelprize.org/press/nobelfoundation/press_releases/2011/nobel_prize_center.html)

ワーキンググループ報告書

[http://www.nobelprize.org/press/nobelfoundation/press\\_releases/2011/nobel\\_prize\\_center\\_rapport\\_sv.pdf](http://www.nobelprize.org/press/nobelfoundation/press_releases/2011/nobel_prize_center_rapport_sv.pdf)

【建設予定地】



### ノーベル財団が国際諮問委員会を設立

2011年11月16日に、ノーベル財団は、国際諮問委員会を設置することを決定し、前首相であり現在VolvoグループCEO、エリクソン会長のLeif Johansson氏が、初代会長に任命された。

国際諮問委員会は、アルフレッドノーベルの意思の実現とその振興への貢献だけでなく、財団の財政面に関する指導と支援という役割も期待されている。他の委員は、ノー

ベル賞の将来的な発展に有益な各分野の著名人から構成され、2012年中に任命される予定である（吉澤 菜穂美）。

(参考)

ノーベル財団 HP

[http://www.nobelprize.org/press/nobelfoundation/press\\_releases/2011/adv\\_board.html](http://www.nobelprize.org/press/nobelfoundation/press_releases/2011/adv_board.html)

### スウェーデンの大学および専門大学—2011年次報告書概要版

スウェーデンにおける高等教育に関する活動状況について毎年スウェーデン高等教育庁がまとめている「スウェーデンの大学および専門大学2011年次報告書概要版」が発表された。国際情勢と比較したスウェーデンの高等教育、昨年度の各大学の活動報告、スウェーデンの高等教育に関する学問体系や方整備等の基本情報、各大学の主要データ等が掲載されている（吉澤 菜穂美）。

(参考)

高等教育省 HP

<http://www.hsv.se/download/18.7dac986013389229f6e80002786/1115R-swedish-universities-annual-report-2011.pdf>

## 「数学イニシアティブプログラム」最終報告書

2009年から2011年に国家によって進められた「数学のイニシアティブプログラム」に20万人の学生と12,000人の教師が参加した。最終報告書は、参加した多くの教師がこのイニシアティブが良い教育につながったと報告しており、コンピュータや実験教材よりも教師の能力開発に資金を投入した方が効果的であると結論づけている。

さらに2012年から2015年まで、新たなイニシアティブが実行され、推定40,000人の教師が参加する予定である（吉澤 菜穂美）。

(参考)

スウェーデン学校庁 HP

[http://www.skolverket.se/2.3894/publicerat/arkiv\\_pre\\_ssmiddelanden/2011/over-200-000-elever-deltog-i-satsning-pa-matematik-1.164930](http://www.skolverket.se/2.3894/publicerat/arkiv_pre_ssmiddelanden/2011/over-200-000-elever-deltog-i-satsning-pa-matematik-1.164930)

数学イニシアティブ最終報告書

[http://www.skolverket.se/polopoly\\_fs/1.164968!Menu/article/attachment/Utv%C3%A4rdering\\_matematiksatsning\\_ramboll.pdf](http://www.skolverket.se/polopoly_fs/1.164968!Menu/article/attachment/Utv%C3%A4rdering_matematiksatsning_ramboll.pdf)